

第3学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主 題 認め合い共に生きる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

国際社会・共生社会の一員として、多様性を認め尊重し合い、協働して共に幸せな社会を築いていこうとする意欲と態度を育てる。

4 指導計画

【学級での取組】

生命の尊重

- ・生まれてきてくれて、ありがとう
—助産師さんからのメッセージ—

（道徳科）1時間

生命の誕生に対する責任感や喜び、感謝の念、生命の神秘性を通して、かけがえのない自他の命を尊重しようとする態度を育てる。

【学年での取組】

人権教育講演会

「今、起こっていること、人権の視点から」

（総合的な学習の時間）2時間

様々な人権問題について知り、身近なものとして考えようとする心情を育てる。

国際社会の問題

- ・その子の世界、私の世界
「チョッと世界をのぞいてみよう ～世界から児童労働をなくす方法」(ACE動画)
（道徳科）1時間

- ・その子の世界、私の世界
「チョコレートがつないだひとつの物語」
(ACE動画)（道徳科）1時間

世界の子どもを取り巻く現実について考えることを通して、国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。

人権教育講演会

「イギリス人から見た日本」

（総合的な学習の時間）2時間

日本で暮らす外国人が思っていることや人種差別の実態を知り、国際社会の中で、多様性を認め尊重し合い、協働して生きていこうとする意欲を高める。

在日外国人の人権

- ・ヘイトスピーチ（道徳科）1時間
- ・外国人と人権 ～ちがいを認め、共に生きる～（法務省動画）（道徳科）1時間
- ・「本当の国際化とは」(人権作文)
（道徳科）1時間

日本における外国人に対する様々な偏見や差別の実態を知り、差別解消に取り組もうとする意欲や態度を育てる。

多様性の尊重

- ・「心を開こう」(人権作文)
（道徳科）1時間（本時）

多様な言語や文化、習慣、価値観などがあることに気付かせ、多様性を尊重し、積極的に共生しようとする態度を育てる。

人権作文・人権意見発表会

（総合的な学習の時間）5時間

これまでの人権学習や、身近にある人権問題について、一人一人が作文にまとめ、友達の意見を聞くことで、人権問題の解決に向け、仲間と連帯し行動しようとする意欲を養う。

5 本時の学習

(1) 目標

多様な文化や習慣、価値観などがあることに気付かせ、自分にできることを考えることを通して、多様性を尊重し合い、共生しようとする態度を育てる。

ねらいとする道徳的価値	B — (9) 相互理解, 寛容
-------------	------------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 人権の尊重 個人人権課題名 外国人

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返る。	○在日外国人への偏見や差別の実態について、学んだことを振り返らせる。
2 もしも自分が外国の学校に転校することになったら、どんな不安なことがあるかを考える。	○過去に見た資料や姉妹校との交流などの実体験を思い出しながら考えさせることで、自分事として捉えられるようにする。
3 作文から、日本に転入してきた生徒の気持ちを考える。	○言葉の違いだけでなく、文化や習慣、価値観などに違いがあることに気付かせる。 ①
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 外国からの転入生に、自分たちができることを考えよう。 </div>	
4 転入生が学校に慣れるために、自分たちができることを考える。	○互いの文化や習慣、価値観などの多様性を尊重し合うために、できることを考え発表させる。 ③
5 本時のまとめをする。	○外国人を含めすべての人の多様性を認め合い、互いを知り、学び合っていこうとする意欲を高める。 ②

(4) 評価

・世界には、多様な言語や文化、習慣、価値観などがあることを理解できたか。

【知識的側面】①

・国際社会・共生社会の一員として、多様性を認め、互いを理解し、学び合っていこうとする意欲を高めることができたか。

【価値的・態度的側面】②

・他者の意見をしっかりと受け止めるとともに、自分の考えを表現することができたか。

【技能的側面】③